



# 人権啓発コーナー

人権が尊重され、生きがいを感じられるあたたかい町

8月15日は、終戦記念日です。先の大戦で多くの方が亡くなられました。その方々の御霊(みたま)に対して深い畏敬(いけい)の念を捧げ、争いのない平和な社会の実現を願いましょう。

ちからは、ワァーという歓声が上がりました。

## 第3回子ども人権教室

今回の人権学習は、アイマスク体験を行いました。目に障がいがある方は、周りの環境に著しく行動を阻害されます。模擬体験をした子どもたちからは「道路や歩道に障害物があったり、周りの音が大きかったりすると行動が取りにくいなあ」という感想が聞かれました。

紙工作では、円盤に描いた馬が、回すことで駆けて見える「ストロボスコープ」にチャレンジしました。鏡に向かって回し、四角に空いている窓から見れば、馬が駆けているように見えます。子どもた



## 人権学習web講座

テーマ 感染症・難病等をめぐる人権

日時 8月10日(水) 13時30分～  
場所 氷川町文化センター講堂

問 生涯学習課

☎0965-52-5860



## 地域おこし協力隊 活動レポート ③2



Instagram ▶

## 6/17 料理教室を開催しました!

ウバティと晩白柚のゼリー・黒糖ピーナッツ・大葉のバター焼きそば・チーズの塩オリーブ漬けを作りました。

ウバティは、世界三大紅茶でフェアトレードの商品を使用しました。晩白柚は、冷凍のむき身(道の駅竜北で絶賛販売中です!)をたっぷり入れました。塩は、芦北で開かれた地域おこし協力隊研修会で、不知火海の海水を使って作ったものです。

### 料理教室のお知らせ

「ライスペーパー料理」

日時 8月26日(土) ①10時～②13時30分～

場所 氷川町公民館 調理室

参加費 500円

持参物 エプロン・三角巾・タオル・保冷バッグ・水筒

申込 地域おこし協力隊 蜂須(農業振興課内)

☎0965-52-5854

締切 8月18日(金)

## 町民文芸

### 短歌

風わたる氷川のみなも月赤く  
せせらぎ染めて笑むごとくなり

北野津 井田 道寛

孫曾孫家族四人の暮らす家  
しらかわぞいに今棟上げる

西野津 古崎 スエノ

梅雨最中しとしと雨の日々続く  
鮮む紫陽花晴ればれに

西野津 古崎 栄子

満開の紫陽花深く頭垂れ  
道行く人に挨拶の如

吉本 高橋 澄子

### 俳句

夏の月毘沙門堂の空はるか

北野津 井田 道寛

梅雨晴間梅漬け干してしそをもむ

西野津 古崎 スエノ

どこまでも伸びる蔓のかぼちゃかな

西野津 古崎 栄子

青葉風道行く人をそつと撫で

吉本 高橋 澄子

### 投稿先

〒869-4814

氷川町島地642番地

企画財政課宛(毎月5日必着)



## 八火図書館だより

梅雨が明け、いよいよ夏本番です。夏を感じる小説で、暑い夏を満喫してみるのはいかがでしょう。夏休み向けに自由研究や工作に役立つ本、読書感想文、感想画の指定図書などもそろえています。

### 新着図書紹介

#### 一般書

夜空に浮かぶ欠けた月たち 窪 美澄  
マイ・リトル・ヒーロー 沖方 丁  
墨のゆらめき 三浦 しをん  
朝ラク冷凍サンドウィッチ 田村 つぼみ

#### 児童書

おにのしょうがっこう 山田 マチ  
おじいちゃんのくしゃみ 阿部 結  
じゃんけんぼんのおともだち オノガワ アサコ  
ドレスアップ!こくるん 久野 遥子

### おすすめ図書

「夏美のホタル」 森沢 明夫

日本の夏の田舎の情景が思い浮かぶような描写が素晴らしく、登場人物もあたたかい人たちがばかり。「この夏が、終わらなかつたらいいのになあ」そう思わずにはいられない、夏にぴったりの物語。



あなたの本をこども図書館に  
県民参加型こども図書館企画

新しく建設される県のごども図書館に皆さんが持ちの本を寄贈  
いただく企画です。

日時 8月19日(土) 10時～16時

場所 八火図書館ロビー

収集する本の種類 絵本・児童書  
(小学生向けまで)

※破損、汚れ、落書き、記名がないものに限りです。

問 八火図書館

☎0965-62-3489

### 「雪国」VS「山の音」

法道寺 本田 花風

文学賞と言えば、芥川賞がポピュラー。最近の受賞作と比較してその違いを発見できれば幸いであろう。芥川賞・直木賞は菊池寛が『文芸春秋』を創刊した翌年の一九三五年に設立、その第一回から川端は審査員として十五年間携わり、その翌年死去。前作でも触れたがノーベル賞受賞がその死を早めた事には違いがないようだ。

後日談(2019.10.31)八千草薫さんを悼む・・・朝日新聞追悼談話  
仲代達也…最初の出会いで「こんな美しい人がいるんだろうか」共演では夫婦役が多く、本当の夫婦みたいだと錯覚を起しました。2015「ゆずり葉の頃」の共演、80代であれほど可愛らしい人はいませんね。若い頃からずっと初々しくて、花のような方でした。

倉本聰…本当にきれいでした。ヤチ(薫さん)には3日起きくらしい電話してました。「今朝亡くなりました」と聞いて、富良野から東京まですっ飛んでいった。「死に顔を見せないで」と言っていたらしいけれど頼んでお目にかかり、変わらなかつたなあ。「やすらぎの郷」撮影現場に行つて、清野菜名と風吹ジュンと一緒に見ていたが彼女たちに「これは能で言う入舞(退場するときの舞)だよ、よく見とけよ」って言ったです。まさに入舞だったな。

「山の音」菊子が能面から流れてる涙のシーンが、八千草薫であったならと…お詫び…引用が多すぎ愚策に終わった。